

第12回展 柚木沙弥郎の世界 - 染色・版画・ガラス絵・絵本 など -

2013年1月10日 - 4月13日 期間中/木・金・土曜日 開館



「猫」/ 人形 ゴーフラージュ '02年 作

今回は私の恩師であり、生涯の恩人でもある柚木沙弥郎先生の作品展です。戦後の混乱期、故郷の岡山で民芸に出会い、芹沢けい介師の和紙のカレンダーの美しさに目を奪われ門をたたき、師の勧めでいきなり、浜松の紺屋に住み込みで型染の実際を習得したそうです。その後、女子美術大学の工芸科で教職につき乍ら、用の美を目指し、新しい型染を国画会や個展で発表し、その活動は版画やガラス絵、絵本の挿絵にも広がっています。私が学生の頃は、日本民藝館で沖縄の紅型を型染のお手本として見せて頂き、その後は下町で手拭いや浴衣を染める注染の工場を見学し、実際その時使っていた注染染めの機械が学校にも導入されました。先生も私達も初めてで、4mの布を用意し、型紙を張った木枠を布にのせ屏風畳みにしながら糊付けをし、上から染料を注ぎ、下の箱の空気をコンプレッサーで一気に抜いて染料を下まで通す仕組みです。布を広げると折った所の文様が対照になって出て来て、思わぬ形に歓声を上げたのですが、同時にコンプレッサーがうまく作動しない時はムラになる事もあり、ハラハラドキドキでした。失敗した布は絞りを加えたり、型を置いたり工夫をすとかえって面白くなったり、楽しい経験でした。その様な中で先生は、着実に今迄の型染の伝統を新しい大胆な発想で、独自の世界を築かれました。簡潔でバランス良く、美しい色彩は天性のものかも知れません。そして、どこかにユーモアを忘れず、型なのに柔らかく温かいものが根底を流れています。作品は個展の折々に少しずつ譲って頂き、最初は大切にしまっておいたのですが最近は堂々と居間に飾らせて頂き、毎日楽しく眺めております。90歳のお誕生日を記念して皆様に公開し、先生の心のメッセージをお伝えしたいと思います。同時に、当美術館の設立とコレクションの収集は、先生の絶えざる励ましと御助力なくしては存在しなかったもので、重ねて御礼を申し上げます。

岩立広子

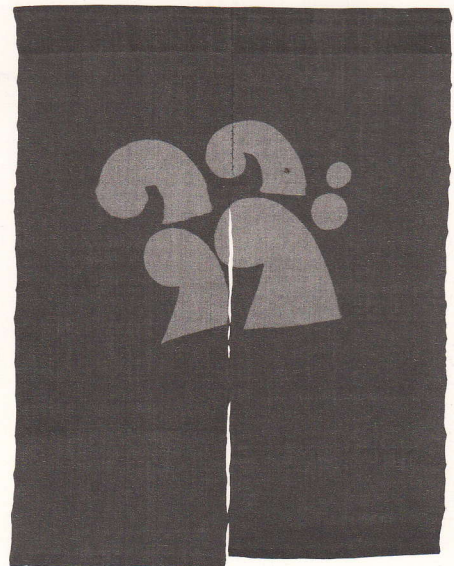
IWATATE FOLK TEXTILE MUSEUM

講演会

- 1月22日(火) 14:00-16:00 「柚木沙弥郎の世界 ①」
2月12日(火) 14:00-16:00 「柚木沙弥郎の世界 ②」
講師：柚木沙弥郎 *各日定員35名(要予約) 会費2000円
・作品や創作、日常の事など、自由にお話して頂きます。
- 3月12日(火) 14:00-16:00 「夢みる手 - 柚木沙弥郎「版」の仕事とその周辺について-」
講師：益田祐作 [6年前に閉廊したギャラリーMMG元代表。'13年1月10日に柚木沙弥郎氏の「版」の仕事に焦点をあてた初の作品集を編集しアーツアンドクラフツから出版予定。型染めから版画迄、柚木作品の新しい見方を語る。]
*定員35名(要予約) 会費2000円

◎お申し込み方法： 1月8日(火)-13日(土) 10:00-16:00の期間中、電話にて受付けます。

[ギャラリートーク] ●いずれも 10:30-11:00 会費500円 *予約不要
・2月2日(土) 館長 岩立広子 / 展示品と共に柚木先生のお仕事を話す。



「ピラミッド」/ のれん 型染 '86年 作

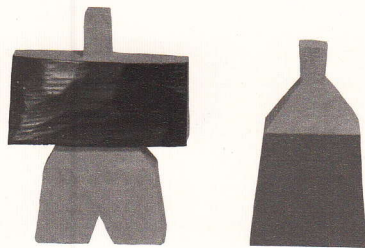
[次回予告]

2013年4月25日-8月10日
「アフリカの衣装」

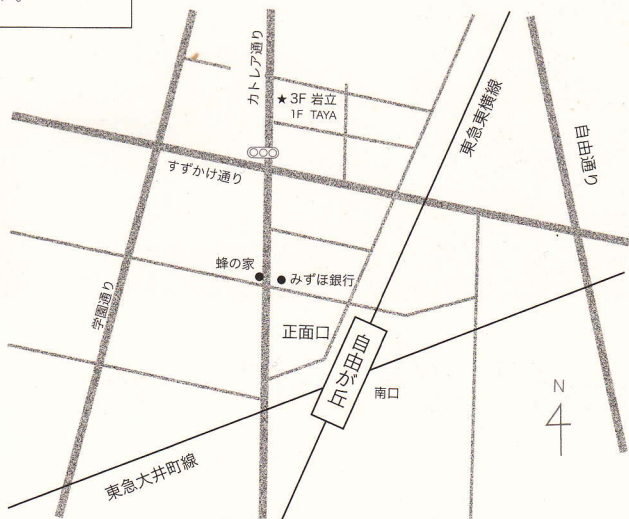
岩立 フォークテキスタイル ミュージアム

〒152-0035
東京都目黒区自由が丘1-25-13 岩立ビル3F
TEL:03-3718-2461 HP:iwatate-hiroko.com

[利用案内] 開館時間：10:00-17:00(入館は16:30迄)
展示期間中、木・金・土曜日のみ開館 入館料：300円
◇IFTM会員の募り(IWATATE FOLK TEXTILE MUSEUM 会員)年会費：1000円
会員の方には当館の催事の御案内を1年間お送り致します。



「お雛様」/ 木彫 '06年 作



●東急東横線・大井町線 自由が丘駅下車 正面口を出て徒歩2分

* (表) 柚木沙弥郎「三月」型染 '01年 作/ 写真：笹谷達平